

◆◇ 会議録(要旨) ◇◆

会議テーマ	令和2年度 第4回阿南市総合計画審議会		
開催年月日	令和3年1月29日(金)	資料の有無	無(有) →別紙
会場	阿南市役所6階 602・603・604会議室		
出席者	<p>【委員】 岩佐委員、小笠原委員、兼松委員、清原委員、紅露委員、炭谷委員、西岡委員、丹生川委員、野村委員、原委員、平山委員、増田委員、山本委員、藤井委員、西野委員、永田委員、片山委員、青木委員（以上17人）</p> <p>【事務局(企画政策課)】 岡田課長、山田課長補佐</p> <p>【市】 表原立磨市長、山本俊也副市長、稲村健一教育長、松崎敏則政策監、桑村申一郎政策監 松内徹企画部長兼総務部長、山脇雅彦危機管理部長、佐野雅史市民部長、富永悟環境管理部長、西尾和洋保健福祉部長、青木芳幸産業部長、都築宏基建設部長、森本英二特定事業部長、金久博会計管理者、田村和彦水道部長、長田浩一教育部長、中野貴裕消防長、倉野克省議会事務局長</p> <p>【オブザーバー】 株ぎょうせい四国支社(石丸担当課長、山野主任研究員、井澤研究員)</p>		
傍聴者	0人		
内 容			
<p>【次第】</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1)審議会からの意見等に対する市の考え方について</p> <p>(2)基本計画(素案)について</p> <p>(3)基本計画(素案)に対する意見集約</p> <p>(4)表紙・裏表紙デザイン選考について</p> <p>3 閉会</p>			

9:00 開会

【次第】

1 開会

2 議事

(1) 審議会からの意見等に対する市の考え方について

(事務局)

「資料1 基本計画(案)への審議会からのご意見等に対する市の考え方」に基づき説明を行う。

○審議

(平山会長)

丁寧に計画に反映している印象があった。たくさんのパブリックコメントが来たと思うが、何件あったか。

(事務局)

1 団体 19 人から、82 件あった。

(平山会長)

市民の方が、関心を持っているからではないか。審議会意見に対する市の考え方について、この場で確認したいことがある事はあるか。

(一同)

意見なし

(2) 基本計画(素案)について

(事務局)

「資料2 阿南市総合計画 2021▶2028 基本計画(素案)」「資料3 パブリックコメントの要約」「参考資料」に基づき、基本政策ごとに説明を行う。

○基本政策1

(平山会長)

基本政策1について、意見いかがか。

(一同)

意見なし。

○基本政策2

(平山会長)

基本政策2について、意見いかがか。

(一同)

意見なし。

○基本政策3

(平山会長)

基本政策3について、意見いかがか。パブリックコメントをまとめた資料はあるのか。

(事務局)

資料 3 にパブリックコメントの意見をまとめた一覧表がある。その内容を反映した。パブリックコメントを反映したものが資料 2 であり、一括して説明している。

(平山会長)

パブリックコメントに反映していない意見もあるのか。

(事務局)

すでに設定している取組の中で取り組んでいくものも多くあるため、全部は反映していない。

○基本政策4

(平山会長)

基本政策4について、意見いかがか。

(一同)

意見なし。

○基本政策5

(平山会長)

基本政策5について、意見いかがか。

(A委員)

道路交通に関する質問で、津峰の有料道路は新年にはたくさんの参拝者が利用しているが、通常の時ほとんど利用する人がいない。県外の人があると、上まで登って橘湾を案内しているが、入り口が貧弱ではないか。どこにアクセス道路があるか分からない。本気になって、活用を考えているとは思えない。新しい道路の整備を目標に掲げているが、既存の道路についても見直しのコメントが欲しい。

観光について、阿波の遍路道は大きな文化遺産だが、私が車を運転する際、(お遍路さんと)すれ違う時に危ない思いをする。お遍路さんが安心して歩けるようするべきと思うが、市に対してお遍路への配慮が少ないと思い、どこかで取り込んでほしい。

(平山会長)

今の意見に対して、市の回答はいかがか。

(都築建設部長)

最初の質問である「拠点の案内が充実していない」という事について、建設部での考え方をお伝えする。国道、県道、市道とあるが、国道は国交省、県道は県、市道は市が管理しているが、市道は最終的なゴール地点に近い。主要な道路からの分岐が分かりにくいという意見は、国や県に要望を出す。

(平山会長)

細かいところは書いていないが、全体的なところで意見いかがか。

○基本政策6

(平山会長)

基本政策6について、意見いかがか。

(B委員)

行財政運営の p.80 基本目標2「健全で持続可能な行財政運営の推進」について、「公共施設等の適正規模・最適配置の推進」がある。阿南市で管理している様々な建物があると思うが、これから人口減少に伴い課題になるのが「小学校の統廃合」である。これからも増えると思うが、使われなくなった学校は、民間に開放する仕組みも必要でないか。それは、野球に限らずスポーツのまちと言っているのだから、民間組織のアイデアで利用可能になるのではないかと。活用されないただある施設だが、民間に開放すると、利用料として維持管理費が得られる可能性がある。

今すぐ必要というわけではないか、使われなくなった施設を民間が利用する仕組みづくりを計画の中に入れて、今後行いやすいのではないかと。

(平山会長)

今の意見に対して、市の回答はいかがか。

(松内企画部長兼総務部長)

委員が言われている通り、遊休施設の利用は考えるべきである。学校の統廃合は教育委員会で別の計画を定めることになっているが、統廃合が実現すれば、空いた施設は有効利用を図っていききたい。他の施設については、統合されて新しい施設が出来て遊休施設となった時に古い施設が多いので、耐震等を考えて、利用を考えたい。本計画の中でもどう反映するか考えたい。

(C委員)

基本計画素案 p.80 の「マイナンバーカードの人口に対する交付枚数率」について、他では2019年度の数字がほとんどだが、これは2020年度である。2020年度の17.9の数字はいつの数字か。

(事務局)

発行枚数は9月末で、人口はR2年1月1日の人口を分母にしている。委員の言われる通り、最新の2020年度末の数字は最終かと思うが、印刷が間に合えば、ギリギリまで最新の数字にする。

(平山会長)

コロナ対応で、マイナンバーカード登録数が増えている。最終的な対応をお願いしたい。

○SDGs

(B委員)

基本計画(素案)SDGsのロゴが小さいように思う。印刷の際は、読めるようになるのか。

(事務局)

86 ページにロゴがある。これで読んでほしい。

(平山会長)

これで読めるというものにしてほしい。

### (3)基本計画(素案)に対する意見集約

(平山会長)

議題1と2を踏まえ、総括的なこととして意見いかがか。

(E委員)

意見の反映に感謝する。私が期待するのは、女性視点である。徳島県の審議会等委員に占める女性の割合は、平成30年で56.2%であった。阿南市も、少なくとも40%を目指していただきたい。多様な人が活躍することが危機管理能力の高さに繋がる。

私は現職で子育て支援、前職では様々な事情で、外で働くことが難しい女性向けに情報通信技術を活用した働き方への普及・推進に努めた。両者の共通点は、子育て中の女性の働き方や環境についての不安の声である。日本の強みであった働き方は核家族化の進展によって、女性にとって生活と仕事を調和させるのが困難になっている。結婚、家庭生活、介護生活を両立させることが出来ず、離職となると生活の不安から出生率の低下につながるのではないかと。

基本計画素案 p.79 の行財政運営の基本目標1の取組にある「働き方改革の推進」と「人口減少問題対策の推進」は相互につながりを持っているので、両輪として推進して欲しいと思う。

近年、子どものスマホ利用の低年齢化が進んでおり、誰もが簡単に情報を得られるようになった。教育分野においても、GIGAスクール構想が実現に向けて進んでいる。p.31 目標1に「メディアリテラシーの育成」という言葉を盛り込んでいただけたら、ありがたい。氾濫する情報に惑わされず、正しい情報にたどり着き、活用する力が必要である。p.27 の「あらゆる暴力やハラスメントの根絶」「デートDV授業実施」にもつながるのではないかと。

子どもがメディアの発信する恋や性の情報を一方的に信じないためにも、「デートDV」の授業は重要でないかと。

最後に、当事者の悩みや困りごとは社会の問題としてとらえ、生まれ持った可能性を開花させられる地域社会として、阿南市が発展することを願います。

(F委員)

全体的なことについて、総合計画基本構想から始まり読んだが、丁寧に対応いただいている。特に、審議が始まった後、昨年12月に「カーボンニュートラル」の議論が始まったが、再生可能エネルギー関連企業や、バイオマス発電に取り組む企業、脱二酸化炭素に向けた企業の集積が高い阿南市では、総合計画にカーボンニュートラルが記載されたことで、先人の思いに繋がり、中身の濃いものになったのではないかと。

1点、残念なのが、阿南市は四国屈指の工業都市だが、工業は素案では「産業振興で活力あるまちづくり」という1ページのみに違和感がある。

また、提案なのが、カーボンニュートラルの記載がp.58 ページ「豊かな環境が支えるまちづくり」の中にある。カーボンニュートラルもSDGsも企業経営にとって負担となると進まない。できれば、カーボンニュートラルは産業の面でも大きなインパクトがある。産業振興「産業振興で活力あるまちづくり」の現状と課題の中にも入れてほしい。

「高速道路ネットワークの開通を見据えた新たな産業基盤形成促進の検討」も追加していただいた。徳島県では県営の工業団地にほとんど空きがない。阿南市も同じである。工業出荷額で成長を続ける我が市にとって、高速道路沿線の産業用地の構想は重要でないかと。南進している四国横断道の中でも、インター周辺では工業立地が進んでいる。本市にとってもチャンスになる。

市民参加で出前市長が増えたのが期待である。特に、阿南版の事業仕分けも拝見した。行政の取り組みの難しさも知る事が出来た。市民の信頼は欠かせない。その点において、開かれた行政を継続して欲しい。夢の持てる総合計画だが、絵に描いた餅にならず、検証制度を持ってほしい。

(G委員)

全体的に、審議会、パブコメ意見を反映していただいた。今後の運用については、庁内に検討委員会など設置することで検討してほしい。野心的に取り組んでほしいとの意見もあるように、積極的に取り組んでほしい。計画の運用をどのようにするかも検討してほしい。

p.26 について、性的少数者にも配慮したが、基本目標1の指標で講演会等への参加延べ人数は、人数だけでなく、「開催回数」の記載も指標として記載するべきではないか。

(H委員)

今後も、コロナウイルスだけでなく大規模災害などの突発的な危機に直面する可能性が大である。、新たな局面を迎えたとき、柔軟な発想で市民の安全・安心な暮らしを守る事を最優先して欲しい。委員は計画の内容を共有し、市民、企業など各種団体と協働し、「生涯チャレンジ都市」阿南を実現することを期待している。

計画書も、出来上がったら終わりではなく、市民がわがこととして考えてもらうよう、分かりやすい周知を希望する。パブリックコメントは、1 団体 19 人から 82 件の意見があったが、これは団体の 82 人が出したのか、一般の人は無かったのか。

(事務局)

具体的な数字は出せないが、1人が数多く出していた。

(H委員)

分かりやすい周知を希望する。もう一点、デジタル社会構築にあたり、高齢者や障がい者も共にプログラミング教育を学び、阿南高専の力も借り、誰一人「デジタル化」から取り残されるような人がいないようにしたい。

放課後児童クラブに携わるものとして、子ども達にも SDGsの理念について、共有をしたい。大人の作った計画書を共に学びたい。

(I委員)

阿南市はSDGs を推進するという意思が伝わる。3 点申すべきことがある。1つ目、防災の教育について、素案 p.18 にも反映していただいた。学校教育の分野にも反映していただいたことに感謝する。今年は、東日本大震災から 10 年である、危機管理をしっかり進めてほしい。

阿南市は津乃峰小学校、橘小学校、阿南特別支援学校が防災甲子園で受賞した。全国でもトップレベルと思う。これからも、しっかりと防災教育をしてもらいたい。

2 点目は、マイナンバーの推進をしっかりして欲しいという事である。コロナ禍で推進して欲しい。

最後は、他の委員のいう通り、市民に向け発信する手法も議論して欲しい。

今後も、若者の意見を施策に反映して欲しい、今後4年の PDCA で評価する部門の視点も入れてほしい。オープン市政も重要である。

(J委員)

基本計画案も良いと思っているが、ハードルが高いのか低いのか意見が割れる。全部は内容が入らないが、ハードルを越えていくように統一してやって欲しい。

(K委員)

基本計画素案 p.5にある「地域福祉」の分野で、基本目標2の「地域福祉活動の総合的推進」の所で、ボランティア個人の登録数、基準値13だが、介護支援のボランティアではないか。私の所で、ボランティア活動

保険があるが、昨年の保険の加入者が 1,200 人と増えているため、ボランティアをする人が多い。もう少し、広くとらえてはいかがか。ボランティア団体の登録数について、NPO 法人の活動も指標として加えてはどうか。阿南市は NPO 法人が少ないため、力を入れてほしい。団体数も指標として加えてほしい。

基本目標3の「我が事・丸ごと相談体制」で、複合的な課題を抱える家庭が多い。伴走型支援が位置付けられている。従来の課題解決型とも違う。孤立や孤独の問題を抱えた人と繋がるのが相談の手法だが、すぐに課題解決につながらないのでは。課題解決につなげた割合が 100%の数字だが、検討してほしい。

(L委員)

1 番には、災害のない、安全・安心な災害のないまちづくりを目指してもらいたい。消防隊員の確保もこれから重要になってくるのではないかな。

(M委員)

全体的によくわかりやすいと思うが、学校の再編があると思うが、情報提供が大事だと思う。特に地元の情報提供である。郷土愛も基本政策3～5にあるが、「阿南市の先覚者たち」という本は良い本である。しかし、本になると少し読みにくい。発信の仕方を考えてほしい。郷土愛は、公園や緑地課の推進にも関係がある。

外国人労働者の相談体制も充実してはどうか。外国人の子どもとの共生も必要である。

(N委員)

基本計画はすばらしいと思うが、評価と検証をお願いしたい。

(O委員)

特に意見はない。期待している。

(C委員)

農業、林業にはパブリックコメントの意見がなくてさみしい。内容は、農林業については新規就農の数字がある。今後、期待したい。個人的に難しいと思うが、達成したい。

(D委員)

パブリックコメントの意見から、阿南市に対し熱心に考えていると思う。阿南市のためにとの意見も多い。良い阿南市を作っていきたいという気持ちの表れではないかな。

婦人会において、各地域で活動している。場所は公民館を主にしているが、若者の参加者が少ない。ボランティアについて意欲的な人が地域で眠っているように思う。そういう人の啓発をしてはどうか。出前市長で話したが、ボランティア意欲の掻き立てをしてほしい。阿南市に夢と希望、観光では、輝いている町だというのがあれば良い。

(B委員)

教育について、色々な施策がある。県の管轄かと思うが、学校の先生の確保が難しい。通常の先生もいるが、産休・育休に入るとの先生が見つからない。ここに書くかという問題もあるが、何かの都合で来られない場合の対応が必要でないかな。

(P委員)

商工会議所内にインフラ委員会がある。そこで、総合計画の提言をする分科会を作り伝えた。内容を言うと、意見書に取り入れていない部分がある。基本政策の1で長期化する新型コロナウイルスで指示待ちでな

く、自らの注意喚起でウィズコロナ・アフターコロナを乗り切るのが必要ではという文章が必要でないか。

p.5 ボランティア個人の登録者数をもっと高いものにする必要があるのではないか。

安心・安全はもちろんの事、p.6の子育て世帯の経済的負担を軽減し、不安なく子育てできる阿南市にしてみらいたい。

基本政策2は安心・安全の暮らしは、地域社会の共助なくして成り立たないことを市民に解く必要性と、p.17の「防災・減災」では、阿南市において那賀川の改修が必要であり、この中に入れてもらいたい。あわせて、地籍調査の早期進展もこの中に入れてほしい。

基本政策3に関しては、基本的な方向に「地域の歴史・文化を学ぶ重要性」が必要に思う。

生涯学習とスポーツを通じた未病への取組、スポーツにおいてキャンプを誘致し、スポーツを通じた生涯スポーツの普及もしてほしい。

p.31の基本目標で環境教育の推進も入れてほしい。

基本政策の4で、市内商工業の活性化を考えたとき、阿南市中小企業振興条例に沿った行政の取り組みが不可欠である。6次産業の推進を考えたとき、農林水産業者の代表、商工業者の代表、行政の意見交換の会を作れたらと思う。振興条例をベースとしたエコノミックガーデンもお願いしたい。

カーボンニュートラルを基本とし、エネルギーミクスを尊重しつつ、電力供給都市へと変貌する必要もある。工業に対する記述が少なく、その辺りも考えてほしい。観光協会を市役所から独立するのも手ではないか。

p.49に「若杉山遺跡」の知名度向上を加えてはどうか。基本政策5で、市役所の新庁舎が埋もれていると思う。例えば、ラウンドアバウトを創り、牛岐城址公園と一体化した憩いの場を作ってはどうか。「生物多様性を活かしたまちづくり」を入れることはできないか。

(A委員)

全体的に、前向きである。具体的な実行をしていくかがこれからの課題に思う。全体的には、環境について水質の保全の視点が欠けているように思う。河川は国が管理しているが、中小の河川が汚れており、配慮が必要である。

県では文化財の大綱も改正している。市だけでは対応できないものであるが、基本的に活用の取り組みが課題である。大綱に対応した活動方針が必要でないか。

(Q委員)

基本政策2の.p3で「女性を登用する」とあるが、女性職員の活用意義があり、実施計画で実効性のあるものにしてほしい。

(平山会長)

全体として、取り入れていたが、P委員からは取り入れられていないとあった。計画だけでなく、検証する。また、世の中の流れが速いので、変えるところは変えていく。後日まとめて報告し、2月8日にJ委員と答申書を提出する。

(4)表紙・裏表紙デザイン選考について

(事務局)

「資料4 阿南市総合計画2021▶2028 表紙・裏表紙デザインの採点結果」に基づき説明を行う。

(平山会長)

市長が選ぶのか。



(事務局)

策定委員会でも採点を行い、審議会の採点結果も踏まえ、市長が決定する。

(市長)

閉会に当たり、御礼を申し上げます。

本審議会には、昨年5月28日に諮問させていただいて以来、これまで4回の会議を開催していただき、職員との間で真剣にキャッチボールが行われた。熱心にご審議をいただいたことに御礼を申し上げます。職員の苦労にも目を向けていただければ幸いです。

(事務局)

今後の予定について、総合計画の構成は基本構想、基本計画、実施計画がある。序論と基本構想は議決を経ており、本日の審議は2月8日の答申を受け、基本計画の原案を作成したい。3月上旬に、序論、基本構想、基本計画を冊子にする。

令和3年度については、令和3年度当初予算が確定した後、速やかに実施計画を作成し、計画を推進する。審議会委員の皆様には、5月に予定している審議会で報告する予定としている。

11:00 終了